

麻生医療福祉&保育専門学校福岡校

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【社会福祉学科】

1年次（3コース共通）

社会で活躍するための基礎をつくるために、ソーシャルワークの基礎を学びながら、コミュニケーション力、文章表現力、社会人としてのマナーを学ぶ。

2年次・3年次

（社会福祉コース）

社会福祉士として、多様な課題に応える実践力を現場で磨くために、分野の異なる2回の実習を通して高齢者や障がいのある方などに対する個別支援について学び、ソーシャルワークに必要な技術を身につける。さらに個別支援だけでなく、暮らしている環境への地域支援についても学び、さまざまな生活のニーズに向き合いながら実際の現場で学ぶ。

（精神保健福祉コース）

精神保健福祉士として専門性を発揮するうえで基礎となる専門的な知識技術を習得し、日常生活の困りごとや心と体の健康、社会での必要なサポートを理解し、当事者の気持ちに寄り添う支援の方法を学ぶ。さらに高度な倫理観、クライアントの人権を尊重し支援出来る、社会福祉士・精神保健福祉士となるための実習を行い、援助技術の向上を図る。

（児童福祉コース）

児童分野の専門職としての基礎的な知識と技術の習得を目指し、子どもと家庭を支えるために必要な専門的知識と支援する力を身につける。保育士養成課程の必修科目を履修し、社会福祉士の実習と合わせ、児童福祉施設での支援について学ぶ。さらに保育所、児童福祉施設で実習を行い、実践的技術を身につけ、地域のつながりを作るために役立つ広い視野を持った人を目指す。

【こども保育科】

保育士資格および幼稚園教諭二種免許取得のため、本校保育士養成課程の指定科目に加え、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科のカリキュラムを基本とし、両資格・免許に必要な共通教育科目および専門的知識、実践的技術を修得するための専門教育科目を配置する。

- ①豊かな教養と知性が備わった保育者を育成するために、共通教育科目を配置し、社会人としての一般常識やルールについて理解を深める教育を行う。
- ②保育の実践力を身に付けるため、保育についての理論を基に、授業・実践・実習・振り返りを積み重ねていく専門教育科目群の中で、現場の保育ニーズの理解を深め、保育者として必要な技術や知識を修得できる職業教育を行う。

【医療秘書・事務科】

本学科の教育課程は、1年次前期に基礎、1年次後期に実践導入、2年次に応用・発展を据え、講義・演習・実習を組み合わせることで段階的に学修を深める。さらに、キャリア形成科目と実習前後のガイダンスを通じて、学びの定着と就業力の向上を図る。

1) 体系的な編成

- ・ 1年次前期：基礎形成（医療事務・医学基礎・接遇・自己理解）。
- ・ 1年次後期：実践導入として臨床実習Ⅰや現場準備科目で実務に接続。
- ・ 2年次：応用・発展。専門選択で強みを伸ばし、臨床実習Ⅱで実地力を強化。

2) 授業方法の方針

- ・ 講義で知識を学び、演習で技能を定着し、実習で実務統合力を高める三層構造で編成する。

3) DP との対応がわかる科目配置

- ・ 診療報酬：メディカルクラーク・調剤クラーク系科目などで基礎から段階的に学ぶ。
- ・ 医療文書：ドクターズクラーク系科目と実習で作成力を養う。
- ・ ICT・セキュリティ：タッチタイピング、文書作成、Excel、メディカルオペレータ、医療セキュリティで実務スキルを標準化。
- ・ 医療用語・対話／コミュニケーション／接遇：医学・薬理基礎、コミュニケーション演習、ホスピタリティ科目群で態度・協働力を育てる。

4) キャリア形成の並走

自己理解・就業力を高める科目（自己発見ワークショップ、未来キャリアデザインプラン）を段階配置し、実習前後のガイダンスで学びを定着させる。

【AI&診療情報管理士科】

本学科では、診療情報管理士および医療情報技師として医療分野で活躍するために必要な知識・技能を段階的に習得できるカリキュラムを編成する。1年次から3年次までの学びを通じて、基礎知識の習得から実践的な応用力の完成まで、確実な成長を支援する。

1年次：基礎知識と医療業務の全体像の理解

1年次では、診療情報管理士認定試験や医療情報技師能力検定試験の基礎となる医学・医療の知識を中心に学ぶ。保険制度や診療報酬制度、レセプト作成・点検の基本を学ぶことで医療事務の基礎力を固める。また、病院の機能や働く人々の役割、業務内容を理解し、説明できる力を養う。さらに、AIを活用した初歩的な操作やアウトプットの生成を通じて、AIリテラシーの基礎を身につける。

2年次：専門知識を深め、医療現場での課題解決力を育成

2年次では、医療情報技師能力検定試験の全分野（医学・医療、情報処理技術、医療情報シ

システム)に挑戦し、試験合格を目指す。病院実習を通じて、医療現場での業務プロセスを分析し、課題を具体的に発見・AI適用を検討する力を実践的に身につける。また、医療現場で発生する課題やリスクを理解し、それに対する対応策を考える力を養う。

3年次：知識を統合し、医療の現場で活躍できる総合力を完成

3年次では、診療情報管理士認定試験と医療情報技師能力検定試験の出題範囲を完全に理解し、合格を目指す。また、患者やその家族の不安や苦しみ、訴えに対して、その背景や状況を正確に捉え、自身なりの考察を行い、根拠を持って適切に対応する力を育成する。さらに、AIを活用した問題解決やシステム適用の提案、データ分析を実践的に行い、医療の現場で活躍するための総合力を完成させる。

【介護福祉科】

介護福祉士として、利用者の尊厳を守り、自立支援を実現するために、根拠に基づいた思考力と実践力を育成し、最先端の介護技術を活用して課題解決ができる能力を習得することを目標とする。この目標に向け、講義・演習・実習を段階的に配置し、基礎から応用までの知識と技術を体系的に学べる科目を編成する。

①人間と社会

地域共生社会の理解を深め、多様な価値観を尊厳できる姿勢を育成する。

自己理解を深めるワークや対人援助に必要な人間関係を学び、チームマネジメントの基礎を習得する。

多職種連携授業（IPE教育）等を通じ、チームケアにおける介護福祉士の専門性と役割を理解し、専門職間での円滑なコミュニケーション能力を養う。

②介護

利用者のその人らしい生活とよりよい人生を支援するため、個別支援計画やチームケアの手法、コミュニケーション技術を学ぶ。

必要な倫理観や理論を講義で学び、根拠に基づいた考え方を実践に応用する。

介護現場で発生する課題を分析し、最先端の介護技術を用いて解決策を考案できる能力を育成する

ICTや介護ロボットを活用し、効率的で先進的な支援技術を習得する。

③こころとからだのしくみ

身体構造や心身機能の基礎を学び、加齢や障害、認知症が生活に与える影響を理解する。状態に応じた適切なケアを学び、科学的根拠に基づいた支援を実践できる能力を育てる。

④介護福祉実習

各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護福祉士としての役割を理解する。

対象者や家族と信頼関係を築き、生活支援を通じて利用者の望む生活の実現を目指す。実習は基礎から応用へと段階的に進め、着実に実践力を身につけられるよう編成する。

【国際介護福祉科】

将来日本の国家資格である「介護福祉士」取得を目指すために必要な日本語能力及び日本の文化や福祉理解に関連する科目及び、多様な価値観を認め合うことができる科目を編成する。

- ①日本語能力向上のため、**JLPT N2** 取得をめざす。
- ②日本の福祉を学ぶため、座学以外での学外学習や体験を通じて日本の福祉を理解できる科目編成を行う。
- ③介護福祉士養成課程につながる介護業界の基礎知識や言語を習得する科目を編成する。

【社会福祉科】（～2025 年度入学生）

社会福祉士国家資格の受験資格に必要な指定科目を全ての学年において、配置する。また、保育士資格取得のため、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科併修による指定カリキュラムを配置し、社会福祉・こども家庭福祉の現場のニーズに即した科目編成を行う。

- ①社会福祉学および保育学、その支援科学において蓄積された知見に基づき、福祉マインドを備える人材となるための価値・知識・技術を修得する科目群を全ての学年において設置する。
- ②社会福祉に関する姿勢・知識・技術を体系的に学ぶため、講義、演習、実習の多様な形態の科目を設置し、社会福祉専門職としての態度・知識・技術を涵養するため、「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」を配置する。
- ③保育に関する姿勢・知識・技術を学ぶため、保育についての理論や技術に関する科目を設置し、保育の方法や保育者としての姿勢を体得するため「保育実習Ⅰ・Ⅲ」を配置する。

【こども未来学科】（～2025 年度入学生）

保育士資格および幼稚園教諭二種免許取得のため、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科を併修による指定カリキュラムを基本とし、知識・技術を補完するための科目を追加し、現場のニーズに即した授業科目の編成を行う。

- ①豊かな教養と知性が備わった保育者を育成するための共通教育科目と保育の本質や目的、対象、内容について理解を深めるために専門教育科目を配置する。
- ②地域連携カリキュラムを通し、地域の保育園、公民館・小学校と連携を図り、日々の授業を発展させた実践を行う。また、多角的な視点から保育ニーズの重要性を学べる機会を作り、主体性、協働性、問題解決力等を備えた保育者を育成する。
- ③保育士資格・幼稚園教諭免許の取得の為のカリキュラムに加え、保育に必要な更に豊かな表現力を身につける為に、リトミックや幼児体育に関する科目を配置する。

【福祉心理学科】（～2025 年度入学生）

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家資格受験資格取得のために必要な指定科目及び実習履修に加え、職業実践専門課程として、専門技術を習得するため関係機関や福祉事業所との

連携を深めることができる科目を編成する。

以下の内容を学生の段階的な達成目標とし、体系的な科目編成を行う。

1 年次：

自己理解・他者理解ができる専門職の土台となる人間力を養える科目編成を行う。

2 年次：

SW 実習を通して、当事者理解や個別支援といった、より実践的なソーシャルワーカーとしての技術を学ぶ科目編成を行う。

3 年次：

主に精神障害者への実践的な支援方法を学び、多様な社会的ニーズに応えられるソーシャルワーカーとして社会を客観的・論理的に考察できる科目編成を行う。